

区長の基本姿勢について

①法人2税見直し案が区財政へ及ぼす影響は。②都が示した区域のあり方の感想を。

①都区財調が維持できない可能性も危惧。②事務分担の議論の積み重ねが必要。③22年度からの整備を目指す。④情報発信等を強化。⑤今後、制度の創設に取り組み。

区民生活

①新年度予算に向け充実を図る。②特色ある商店街として積極的に広報する。

防災対策の充実について

①防災会等の更なる支援。啓発を。②103校の避難拠点を維持せよ。③防災カレッジ設立を前倒しすべき。④防災リナーになる区民、職員を含めた防災士養成講座を開催し、人材育成事業の実施を。

健康福祉

①敬老館等を有効活用する。③子育て支援策について

環境問題について

①温暖化対策地域推進計画の進捗状況は。②温室効果ガス排出量削減の具体的な目標を。③練馬版エコライフチェックの家庭への普及を。④政府主催の省エネコンテストに

区長の基本姿勢について

①ポスト・練馬区独立60周年の今後の区政展望は。②「アニメのまち練馬区」の国際的PR・イベント・シンポジウムの開催と人材発掘を。

区長

①区が目指すべき将来像を明らかにする新基本構想を策定する。②区民に親しんでいただけのイベント等を実施し、練馬区を強く発信する。

区民生活

③窓口に混乱が起きないよう適切に対応する。

健康福祉

①民間委託化を進

健康福祉

①執行体制の拡充等を図る。②制度の推進事業に積極的支援を実施。③関係者が連携した仕組みを確立し把握に努力。④後見監督人の確保など必要な環境を整備。

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①効果的、積極的

直売ロッカー設置の補助を。

①新年度予算に向け充実を図る。②特色ある商店街として積極的に広報する。

③22年度からの整備を目指す。④情報発信等を強化。⑤今後、制度の創設に取り組み。

健康福祉

①民間委託化を進

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①効果的、積極的

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

財源確保を図り

更なる福祉の充実を！

小林 みつぐ

地域密着型サービスについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

多重債務相談体制の充実や 区民福祉の向上を

練馬区議会自由民主党

岩崎 典子

健康福祉

①執行体制の拡充等を図る。②制度の推進事業に積極的支援を実施。③関係者が連携した仕組みを確立し把握に努力。④後見監督人の確保など必要な環境を整備。

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

政治任用職と事業部制

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

区政を問う

一般質問(要旨)

政治任用職と事業部制

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

縦割り「と」区域を超えた

自治体運営を

民主党練馬クラブ

すがた 誠

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

こんな時代だからこそ 着実な一歩で街づくり

練馬区議会自由民主党

小泉 純一

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

健康福祉

①子ども農漁村交流プロジェクトについて

子育て支援について

①保育ママ制度の維持、発展と区の支援策は。②保育ママ、保育室の利用料金格差の是正を。所見を伺う。

①今後も制度の維持・向上に努める。②様々な観点から、今後検討すべき課題。大泉地域の子ども家庭支援センターについて

①早期に開設を。②24時間子育てホットライン事業も開設を。③子育てひろば・びよびよの運営事業者の育成を。

④びよびよの対象年齢拡大を。健康福祉 ①22年度開設を目指す。②施設整備と平行して慎重に研究する。③事業の充実を通じて育成。④検討課題。高齢者の社会参加について

①高齢者の社会参加の促進と連携強化は。②介護支援ボランティア制度に対しての区の認識は。③高齢者のボランティアへの対応と独自施策

①増税により貧困と格差が広がっている。区税の減額免除図れ。②介護認定者が控除受けられる制度を全関係者へ通知せよ。③国保資格証の発行中止を。④障害者自立支援法の応負担撤回を求めよ。⑤生活困難青年に対し都の制度を活用し、区独自策を。⑥後期高齢者医療制度の4月実施中止を。⑦同事業に国、都の財源求め、区は独自減免を。

⑧資格証発行やめ、健康診断は無料。⑨オリンピック口実のムダやめさせ、区は542億円の基金を区民に使え。区民生活 ①独自の減免は考えていない。②適切に対応する。③発行により、納付を働きかける。健康福祉 ④撤回要請は考えていない。⑤施策が重複するため、都の動向を注視する。⑥考えはない。

ンテア活動に顕彰制度を。

④介護保険法の改善を国に求めるべき。⑤シルバー人材センターを活用し、高齢者家庭の軽作業代行に支援を。

健康福祉 ①様々な方法で支援する。②人件費等の課題が

少子・高齢化対策で、明るい未来づくりを

練馬区議会公明党 斉藤 静夫

あり、更に検討。③現行制度の中で検討する。④必要な場合は要望する。⑤今後研究。交通安全対策について

①登下校時の人的要員確保で交通安全対策を。②「飛び出しくん」看板の設置を。③スクールゾーンにわかりやすい看板の設置を。④カラー舗装の充実を図るべき。

⑦既に区長会等で支援を要請。減免は困難。⑧発行中止の考えはない。国等に費用の財政支援を要請。企画 ⑨施設整備や財政調整に積立している。順天堂練馬病院について

①光が丘の学校統廃合は、凍結し協議を。②小中一貫校先にあるきやめよ。③学校普通教室と体育館にクーラーを。健康福祉 運営費補助に充てるべきものではないと考える。教育長 ①凍結や中止を視野

区民犠牲の行革でなく 区の独自施策の充実を

日本共産党練馬区議員 有馬 豊

行革、委託化方針について

①国の構造改革言いなりの行革方針を見直し、中止含め対応を。②指定管理者制度見直しを。③子ども犠牲の既

まちづくりについて ①練馬駅北口の17階高層光が丘第八など保育の質が低

教育長 ①学校応援団の活用等で安全を確保する。②設置の可能性を検討。③色を統一した看板を検討する。④都が示した基準により、必要性の高い箇所から施工する。⑤全国学力調査結果について

⑤考えていない。教育施設の整備について

①(仮称)豊玉・中村地域交流スポーツセンターにコメントを。②施設の名称に豊玉・中村の地域名を。③計画道路で寸断される大泉第二中学校の今後のあり方を区民に示せ。今後の再建策と用地確保を。④学校に洋式トイレの増設を。

教育長 ①ふさわしいものを設置したい。②検討中。③学区内で再建すべく地域の理解と協力を得る。今後、具体的な再建方法を検討する。④前向きに取り組む。

教育長 ①学習改善や学習意欲の向上につなげる。②検討する。③区としての検証を検討する。④対象学年の変更があったため、適切に判断する。

下した園は、区直営に戻せ。区長 ①着実に推進。企画 ②導入を進め適切に運用。③順次委託化。戻す考えはない。教育について

①光が丘の学校統廃合は、凍結し協議を。②小中一貫校先にあるきやめよ。③学校普通教室と体育館にクーラーを。健康福祉 運営費補助に充てるべきものではないと考える。教育長 ①凍結や中止を視野

区政を問う

一般質問(要旨)

動物飼育について

①住民とのトラブル防止策として、悪質なふん放置や放し飼いに過科を。②犬の健康や危害対策としてドッグラン設置を。③飼い猫の任意登録制の実施を。④学校での動物飼育の推進を。⑤災害時のペット救済措置等、動物との共生プランの作成を。

健康福祉 ①飼い主の責務であり、今後の検討課題。②区立整備は困難。城北中央公園を周知する。③飼い主のいない猫対策検討会の報告を踏まえ検討。④一層推進する。⑤飼育のマナーを区報等で啓発

環境まち 道路拡幅により運行が実現するよう努力する。大江戸線延伸に関連して

地下鉄の導入空間の線内の工夫を。⑤運動指導のサポート体制は。⑥体育施設の運営やサービスの再構築が必要だが、見解は。

①児童生徒の体力の実態と課題は。②テスト結果の活用と体力向上策は。③小学校低学年からテストの実施を。教育長 ①ボール投げ、長距離走が課題。②課題を学ぶ機会を設け、授業改善に努めている。③来年度の実施を検討。

自殺予防策について

①多重債務や失業相談等、社会的支援策の構築を。②精神医療に対する啓発を。③弱音を吐ける環境作りを。

健康福祉 ①多岐にわたる相談体制をとっている。②精神外環の延伸について

保健福祉連絡会で協議。③地域での相談体制の充実を努力。交通不便地域対策について

練馬で一、二を争う不便地域の西大泉5・6丁目付近に一日も早くバス路線を。

環境まち 道路拡幅により運行が実現するよう努力する。大江戸線延伸に関連して

地下鉄の導入空間の線内の工夫を。⑤運動指導のサポート体制は。⑥体育施設の運営やサービスの再構築が必要だが、見解は。

区民の様々な要望・不安・疑問の中から

民主党練馬クラブ

皆さんのへ英一

外環延伸に伴い、自然破壊や大気汚染など様々な生活環境問題が起こるのでは。環境まち 33項目の条件を付した。確実に履行されるよう具体的対応を求め。

学校適正化配置について ①区民への広報支援を。②体育協会や学校開放等への協力要請を。③体育館の利用枠・利用日時決定への配慮を。④体育館の駐車料金の減額を。教育長 ①認知度を高める情報発信が必要。②連携・協力の働きかけを推進する。③利用調整を図る。④施設使用料を見直す際の検討課題の一つ。

学校問題の取り組みについて ①区民への広報支援を。②体育協会や学校開放等への協力要請を。③体育館の利用枠・利用日時決定への配慮を。④体育館の駐車料金の減額を。教育長 ①認知度を高める情報発信が必要。②連携・協力の働きかけを推進する。③利用調整を図る。④施設使用料を見直す際の検討課題の一つ。

環境まち 道路拡幅により運行が実現するよう努力する。大江戸線延伸に関連して

地下鉄の導入空間の線内の工夫を。⑤運動指導のサポート体制は。⑥体育施設の運営やサービスの再構築が必要だが、見解は。

教育長 丁寧な説明に努めている。喫緊の取り組みのため適切な時期に結論を出す。SSC支援策について

①区民への広報支援を。②体育協会や学校開放等への協力要請を。③体育館の利用枠・利用日時決定への配慮を。④体育館の駐車料金の減額を。教育長 ①認知度を高める情報発信が必要。②連携・協力の働きかけを推進する。③利用調整を図る。④施設使用料を見直す際の検討課題の一つ。

環境まち 道路拡幅により運行が実現するよう努力する。大江戸線延伸に関連して

地下鉄の導入空間の線内の工夫を。⑤運動指導のサポート体制は。⑥体育施設の運営やサービスの再構築が必要だが、見解は。

環境まち 道路拡幅により運行が実現するよう努力する。大江戸線延伸に関連して

地下鉄の導入空間の線内の工夫を。⑤運動指導のサポート体制は。⑥体育施設の運営やサービスの再構築が必要だが、見解は。

環境まち 道路拡幅により運行が実現するよう努力する。大江戸線延伸に関連して

地下鉄の導入空間の線内の工夫を。⑤運動指導のサポート体制は。⑥体育施設の運営やサービスの再構築が必要だが、見解は。

子どもから高齢者まで やさしいまちづくり！

練馬区議会自由民主党 笠原 こうぞう

高齢者の健康対策について

①特定健診の準備状況は。②健診後の指導は。③節目健診・高齢者健診との違いは。健康福祉 ①高齢者健診の準備状況は。②健診後の指導は。③節目健診・高齢者健診との違いは。

①施設機能の再整理について ①施設機能の再整理について

女性が安心してできる社会作りについて

健康福祉 ①妊婦健康診査費用の完全無料化を。②子育て応援に「一声かけ運動」を。③女性向けの区の携帯サイトの充実を。④女性へのセーフティ教室の開催を。⑤「練馬産野菜検定」の実施で「野菜ソムリエ」の認定を。⑥働く女性に家事支援サービスを。⑦若い女性向けに講座の開催を。

健康福祉 ①公費負担の充実に努力。②取り組み方法を検討。区長 ③所管課のホームページで女性向け情報を提供中。更に充実に向け改良する。④警察と連携し検討。⑤検討する。総務 ⑥民間との役割分担を踏まえ検討課題とする。⑦女性センターで様々な講座を実施している。

高齢者の食育について ①小学校を利用しての

区長の基本姿勢について ①区長は行革で委託化・民営化による職員削減を進めているが、その先にもどのような自治体を描いているか。②区長が指揮を取り住民を従わせるような区政運営は自治に反する。区民との関係をどうとらえているのか。③迎撃ミサイルPAC3の候補地に練馬駐屯地があがっている。受け入れられないと表明すべき。

区長 ①確固とした財政基盤を持つ「豊かさゆとりあるまち」の実現。②区民をパートナーとし、区はコーディネートとして行政のかじを

取得。総務 ③情報提供がな

いたため防衛省に照会中である。介護保険について

健康福祉 ①高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターはわかりにくい。周知の計画は。②センターの充実を。

健康福祉 ①今後とも周知に努力。親しまれる愛称を検討。②職員のスキルアップを図る。地域医療について

健康福祉 ①都市交通マスタープランの基本的な考え方と位置づけは。②交通不便地域の解消を。③乗り合いタクシーの導入を。④区民へバス・ロケータのほっとサロンと趣旨が一致。⑤公共施設にバス接近表示器

健康福祉 ①総合的な交通システムの構築と、交通施策の個別計画。②バス事業者等と連携し解決方針を定める。③健康福祉 ①ふさわしい愛称を検討する。②策定中の第四期介護保険事業計画で検討。新たな交通システムの構築について

健康福祉 ①理解を得つつある。状況をみて一定の時期に判断する。②後期世代育成支援行動計画を策定する。③廃プラ回収と清掃工場建替え

健康福祉 ①モデル回収後、全域実施の展望は。②プラスチックの焼却のために練馬清掃工場を大規模化するのではなく、資

源化センターに計画を見直し。環境まち ①リサイクル事業協同組合の協力を得て、経費を含め着実に対応する。②一層の周辺環境への配慮を求め

る。建て替え計画の見直しを

求める考えはない。

健康福祉 ①約500件。増加傾向にはない。②実践的研修を実施中。③人的配置により支援。健康福祉 ④ひろば事業との連携を図り努力する。⑤実施方法等を含め検討を進める。⑥委託化の中で実現していく。

健康福祉 ①障がいのある無にかかわらず、違いを認め合う教育のために学校全体で体制をつくれ。②学校巡回相談員の増員を。③子ども、保護者、教職員への啓発を具体化せよ。教育長 ①必要に応じて相談員等の参加・連携を図る。②今後の推移により検討する。③教育だよりや保護者会等で理解・啓発を進めている。教育委員会

妊婦健康診査費用の完全無料化を 練馬区議会公明党 柳沢 よしみ

区政を問う 一般質問(要旨)

区長の基本姿勢について ①法人2税を中心とする。②新任教師への指導体制は。③学校へのサポート体制は。④放課後子どもプランを全小学校で早期実現を。⑤児童館における「ランドセル来館」の実施を。⑥学校の長期休暇期間における学童クラブ開始時間の拡充を。教育長 ①約500件。増加傾向にはない。②実践的研修を実施中。③人的配置により支援。健康福祉 ④ひろば事業との連携を図り努力する。⑤実施方法等を含め検討を進める。⑥委託化の中で実現していく。

格差是正・くらし・福祉へ きめ細かな施策を 社民党練馬区議団 北川 かつしげ

放課後子どもプランについて ①児童クラブと学校応援団との連携は、地域の条件の違いを踏まえて柔軟に。②民間学童や児童館の役割はどうなるか。③行政の人的配置が必要だが。④財政の見直しは。健康福祉 ①モデル事業を検証し、実施計画に反映。②あり方検討委員会の中で事業内

中国北京市海淀区への議員派遣報告 練馬区議会は、北京市海淀区からの招請を受け、11月13日から11月16日まで海淀区に議員団を派遣しました。この派遣は、練馬区と海淀区の友好交流15周年にあたり、これまでの友好交流事業の成果を確認し、今後、両区ならびに両区民の交流のあり方、支援策等について、調査研究するために行われました。

会議の開催状況 11月28日(水) 議会運営委員会 本会議(所信表明 議案上程等) 29日(木) 本会議(一般質問) 30日(金) 本会議(一般質問) 12月3日(月) 本会議(一般質問) 4日(火) 常任委員会(5委員会) 5日(水) 特別委員会(4委員会) 6日(木) 特別委員会(1委員会) 7日(金) 常任委員会(5委員会) 7日(金) 議会運営委員会 11日(火) 常任委員会(5委員会) 12日(水) 特別委員会(2委員会) 14日(金) 議会運営委員会 本会議(追加上程) 本会議(追加上程) 本会議(議決)